

# あかるいまち21

No.1139号 2018年5月24日 組織部 TEL082-532-1264

	5月累計	2018年度
組合員ふやし	63人	131人
出資金ふやし	475万円	692万円
純増	▲350万円	106万円

## 第6次長計(案)説明および意見交換会を5日間開催、90名の参加

5/14(月)より18(金)までの5日間、けんこうプラザ・福島生協病院・生協さえき病院と会場を変えて、第6次長期計画の説明および意見交換会が行われました。参加は組合員13名・職員77名の90名となりました。初めて長期計画について具体的な話を聞く方もいる中で、やはり多く質問が出たのは旧福島生協病院の跡地利用について。医療や介護の転換期を迎えようとしている今日に跡地利用を検討する意義について、藤原常務が5日間講師を担当され、盛谷専務からも、以下のような補足説明がありました。

『第6次長期計画は元々地域包括ケアの観点を根底に形作ったもので、これは新病院を建設した2015年の段階ですでにプロジェクトとして計画していた。2025年までに国が進めるとされている地域包括ケアは、公的責任を縮小したものであるが、これに対して医療福祉生協はどこでも安心して暮らせることを目指した地域包括ケアを進めようとしている。第6次長期計画をすすめることは、主に都市部で心配されているような高齢者の独居・住まいの保障を目指すものであり、また、その住まいと一緒に医療や介護などをトータルでカバーする第一歩になる。人口減少もあり、全国的に見ても患者は減っているが、病院に來れない病人は地域に確実にいる。住まいと一体になった医療・介護を進める長期計画は、これからの高齢化社会での病院の在り方を示すものになる』



5/22の長計委員会で、この意見交換会で出た意見をもとに第6次長計(案)の最終討議をおこないました。ご参加された皆さん、大変ありがとうございました。

## 湯来支部総会(5/23)に、サロンからの初参加2名

5/23、サンピアゆきで湯来支部総会が行われました。集まったのは13名で、サロンの参加者から未加入の方が2名ほど来てくださいました。医療生協の説明から、第6次長計、病院の運



営などについても、しっかりと理事・支部長・運営委員から紹介できました。セレモニーアドバイザーをお迎えしての講演、『人生のしまい方』では、お骨やお墓の処理などにみなさん興味を持たれたようで、お弁当を食べている間もずっと質問が続いていました。笑いながら自分の人生のデザインについて考えられる機会となり、大好評の企画となりました♪

協同組合がよりよい社会を築きます